

字星



先日、兄様が流されていっ丈にも笑顔で語って
昨年の大たたというから、そのくれた姿に思わず涙
震災を改状況は想像を絶しがこぼれた。

めて思いた。「役場で相続の 税理士法第一条

知らされる相談に乗 相談に行った方がい (税理士の使命) に
った。歳は4代半ば、い」と言われての来 「納税義務者の信頼
気仙沼から来られた所。その誠実さに頭にこたえ」とある。
という。

気仙沼と 英知を磨くのは何のため

信頼を
得、それ

いえば、

東北 桑畑 弘道

に伝えて
いくのは

今回被害

のとても大きかったの下がる思いがし 簡単ではない。しか
ところだ。もしま。た。何時間お話しし、だからこそこれ
の予感の中。ご両 ただろうか、どれだ からも「何のため」
親、お兄様が亡くな けお役に立てたか不 に税理士となったの
られ、4人家族中自 安だったが、最後にかの原点を忘れず、
分だけが生き残った 「来て良かった。本 自己研鑽に努めた
という。目の前をお 当に良かった」と氣い。